

特定非営利活動法人いしのまき環境ネット
第15回 通常総会

式次第

日時：令和 2年 9月 3日（木）19時より

場所：滝川

1. 開会

2. あいさつ

3. 議長の就任

4. 定足数の確認

5. 議事録署名人の選任

6. 議事

第1号議案 2019年度事業報告

第2号議案 決算報告

第3号議案 役員改選

第4号議案 2020年度事業計画案

第5号議案 予算案

7. 報告事項

8. その他

9. 閉会

特定非営利活動法人 いしのまき環境ネット
2019年度 事業総括

代表理事 齋藤 義樹

新時代「令和」を迎えた2019年度、地域のまつりへの参画や植樹・育苗などの継続事業と並行して、主婦向けの環境講座や廃棄物処理施設への見学など、新しい活動も行いました。

4月と6月には、ベビースマイル石巻主催の環境講座において、教育・経済・価値観（感）など環境と全てのつながりについての概念的な話だけでなく、効果的な3Rの優先行動や家庭での微生物資材の活用など「子育てと生活に役立つ」環境対策を伝えました。

石巻川開き祭りでは、ゴミ分別問題を解決するためのステーション設置等、2017年度からの取り組みを一般社団法人石巻青年会議所などの他団体の協力と連携により、継続的に行いました。

8月の北上川フェアでは、昨年好評だった中里川の水棲生物展示（水槽）を行い、EM団子づくりも多くの子供達に体験してもらいました。完成したEM団子は11月に中里川へ投入し、浄化活動も継続しております。

また「石巻南浜津波復興祈念公園」の協議会においては、複数の企業の参画が進みました。CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の本義 — 利潤追求とは関係のない単発の慈善活動や社会奉仕ではなく「利潤追求と社会貢献は不可分一体」— に基づき、企業価値と社員の人生の質を同時に高め、防災教育ともなる「継続的な公園内の植樹と管理」へ向けて、8月から11月にかけて複数の植樹を実施しました。

合わせて9月には、今年で3年目となる協議会主催の植樹祭が800人規模で行われ、公園内の海側へ将来の防災林となる7,800株（うち約1/10が当会で育てた苗）の植樹をしました。

更に今年度末時点で30種・3500株を超える郷土種の育苗も継続中です。その過程により郷土再興、震災伝承、人々のつながりなど、広義の環境をも含めた「公益性という価値」を高める活動を継続できることに深く感謝しております。

平成17年（2005）6月の設立より15年目の活動も無事に終えることができました。今年度の事業におきましても会員の皆様を始めとして多くの方々に、ご支援とご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

運営に関する事項

◇理事会の開催（平成31年4月～令和2年3月）

第98回 9月5日（木）スパイスガーデンにて

◇会員について（最終ページ参照）

法人、個人に対して会員の継続を依頼。期末（3月31日）現在では

法人正会員 15 社

個人正会員 22 名

事業 NO1

◆被災環境改善隊（いのちの底力プロジェクト）

チームリーダー 齋藤 義樹

【令和元年度事業報告】

月/日	内容・目的	場所・ 参加人数等	備考
4/3 (水)	海浜植物の移植 防潮堤の工事などで生息地が消滅する恐れのある、ハマギクなどの海浜植物を移植保全	雲雀野海岸 5名参加	雲雀野海岸から祈念公園 市民活動拠点に移植 ハマナス 10 株、ハマギク 40 株
4/23 (火)	施設見学 廃棄物処理の現状を知るため、施設職員 の説明と案内のもと施設内を見学	ウッドリサイクル センター及び石巻 広域クリーンセン ター 5名参加	
4/26 (金)	環境講座 NPO 法人ベビースマイル石巻主催の環 境講座において『「こどもたち」の未来 と環境』と題して講演	マタニティ・子育 てひろば「スマイ ル」 12名参加	齋藤代表理事が講師を務 めました
6/22 (土)	植物観察会 海浜植物の現状を観察・調査	雲雀野海岸 2名参加	
6/24 (月)	環境講座 NPO 法人ベビースマイル石巻主催の環 境講座において『身近な環境とうまく付 き合うために～実践編～』と題して講演	マタニティ・子育 てひろば「スマイ ル」 10名参加	齋藤代表理事が講師を務 めました
7/20 (土)	ハマナス植え替え 復興祈念公園に植樹する予定のハマナ スとマルバシャリンバイ（今春発芽）を ポットへ植替え	石巻市南浜津波復 興祈念公園 8名参加	ハマナス 300ポット マルバシャリンバイ 60ポ ット
7/31 (水) 8/1 (木)	川開き祭りへの参画-ゴミゼロステー ションの運営- 美しい石巻川開き祭りのため、ゴミの分 別を促す拠点を設置、他団体との連携に より運営	中心市街	
8/18 (日)	北上川フェアへの参画 会場の1ブースを運営、パネル展示（活 動紹介、河川浄化など）、水槽にて中里 川の水生生物を展示（エビや小魚等）及 びEMダンゴづくり体験を行った	中瀬公園	EMダンゴ約 340 個作成

8/24 (土)	ライオン植樹式への協力 石巻市とライオン株式会社の包括連携協定に基づき、同社ラグビー部による植樹式を実施、23種 664本を植樹、植樹指導と苗木提供に協力	石巻南浜津波復興 祈念公園（石巻市 植樹エリア） 約 50 名参加	664 本のうち当会の苗木 48 本を活用 内訳：テリハノイバラ 17、 ハクウンボク 15、コナラ 16
9/14 (土)	苗木の植え替え あいち会会員を対象に苗木の植替え体験と植樹場所を見てもらい、復興祈念公園の杜づくりを知って頂く	メイクハッピー ハウス 12 名参加	ヤマハギ 72 ポットを植え 替え
9/16 (月・祝)	石巻市倫理法人会記念植樹への協力 設立 30 周年記念植樹への指導など	石巻南浜津波復興 祈念公園（宮城県 植樹エリア） 約 80 名参加	クロマツ、ハイネズ、ツワ ブキ、スイセン約 1,000 株 を植栽
9/22 (日)	植樹祭 準備作業 23 日に行う植樹祭の準備（苗木の仕分けと配置・マルチ材の配置など）	石巻南浜津波復興 祈念公園 約 50 名参加	
9/23 (月・祝)	石巻復興の森づくり植樹祭 2019 公園の参加型維持管理運営検討協議会主催の植樹祭へ参画（当会育苗の苗木 5 種 785 株を提供）	石巻南浜津波復興 祈念公園 約 800 名参加	植樹面積 6187.64 m ² 。45 区画。植樹祭全体では 18 種の樹木・草本 約 7,800 株を植樹
10/26 (土)	武田薬品工業(株)植樹への協力 武田薬品工業(株)の植樹に協力（植樹指導や取り組みの説明）、23 種 548 株を植栽	石巻南浜津波復興 祈念公園（石巻市 植樹エリア）	当会苗木エゴノキ 23 本を 活用
11/3 (日)	海浜植物の移植、種子採取、播種 空き地に保存していた海浜植物を海岸と公園内へ移植、現地自生のハマナスから種子を採取してトレーに播種	雲雀野海岸および 石巻南浜津波復興 祈念公園 約 30 名参加	「北の里浜 花のかけはし ネットワーク」の方々への 協力事業
11/15 (金)	武田薬品工業(株)の植樹に協力 31 種 340 株を植栽	石巻南浜津波復興 祈念公園（石巻市 植樹エリア） 約 40 名参加	
11/30 (土)	中里川の浄化 川の浄化のため、中里川に EM ダンゴ約 340 個を投入	中里川（石井閘門 付近） 4 名参加	

【収支会計報告】

単位：円

科目	収入		支出		備考
	予算	決算	予算	決算	
資材費			100,000	52,533	EM資材 13,719 育苗資材（培養土、ポリポット等）21,514 防草シート 17,300
備品費			20,000	19,923	ジョーロ、バケツ等 19,923
その他	60,000	587,033		0	苗木販売、植樹体験料等 570,053 EM資材販売 8,000 講師謝金 8,980
合計	60,000	587,033	120,000	72,456	

【写真記録】

海浜植物移植 4/3



施設見学 4/23



環境講座 4/26



植物観察会 6/22



環境講座 6/24



ハマナス植え替え 7/20



川開き祭り参画 7/31-8/1



北上川フェア参画 8/18



ライオン植樹式 8/24



苗木の植え替え 9/14



石巻市倫理法人会記念植樹 9/16



植樹祭準備作業 9/22



石巻復興の森づくり植樹祭 9/23



武田薬品工業植樹 10/26



海浜植物移植～播種 11/3



武田薬品工業植樹 11/15



中里川浄化 11/30



【今年度植樹した苗木の本数】

場 所	月 日	種 名	本数（株数）		備 考
石巻南浜津波復興祈念公園	8/24	コナラ	16	48	ライオン(株)植樹式
		ハクウンボク	15		
		テリハノイバラ	17		
	9/23	ウスガサネオオシマ	8	785	石巻復興の森植樹祭 2019
		クロマツ	600		
		センダイハギ	16		
		テリハノイバラ	145		
		ハマナス	16		
	10/26	エゴノキ	23		武田薬品工業(株)植樹
	2019年度 合計			856	
2017年度からの累計			1,477		

事業 NO2

◆広報事業

事務局管理

【令和元年度事業報告】

事業名	広報・研修事業	
概要	実施時期	平成31年4月～令和2年3月
	内容	ホームページの管理と維持
目的	団体の活動告知	

決算

(単位：円)

科目	収入	支出	備考
ドメイン料		1,886	さくらインターネット新規契約料
サーバー利用料		5,238	サーバー使用料
雑費		336	振込手数料
計	0	7,460	

第2号議案 決算報告

令和元年度 活動計算書			
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで			
特定非営利活動法人いしのまき環境ネット			
(単位：円)			
科目	金額		
I 経常収入			
1. 受取会費			
法人正会員受取会費	20,000		
個人正会員受取会費	30,000		
賛助会員受取会費			
受取会費計		50,000	
2. 事業収入			
苗木販売	570,053		
EM資材販売	8,000		
講師謝金	8,980		
事業収入計		587,033	
3. その他収入			
受取利息	11		
雑収入			
その他収入計		11	
経常収入計			637,044
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
(2) その他経費			
資材費	52,533		
備品費	19,923		
通信費	7,124		
雑費	336		
会議費	200		
事業費計		80,116	
2. 管理費			
(1) 人件費			
賃金	0		
(2) その他経費			
消耗品費			
通信費	12,230		
印刷費			
雑費	600		
管理費計		12,830	
経常費用計			92,946
当期正味財産増減額			544,098
前期繰越正味財産額			1,333,913
次期繰越正味財産額			1,878,011
※ 今年度はその他の事業を実施していません。			

1. 事業費の内訳						
科目		被災環境改善隊	広報事業	その他		
(1)人件費						
賃金		0	0	0		
人件費計		0	0	0		
(2)その他経費						
EM資材		52,533				
育苗資材		19,923				
サーバー使用料			1,886			
ドメイン使用料			5,238			
振込手数料			336			
会議費				200		
事業案内ハガキ等				12,230		
収入印紙				600		
その他経費計		72,456	7,460	13,030		
合計		72,456	7,460	13,030		

貸借対照表

令和2年3月31日 現在

特定非営利活動法人いしのまき環境ネット

(単位:円)

科目		金額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
	現金 事務局手元有高	463,709	
	普通預金 七十七銀行	1,104,313	
	普通預金 ゆうちょ銀行	309,989	
	流動資産 計	1,878,011	
	資産合計(A)		1,878,011
II 負債の部			
1. 流動負債			
	流動負債 計	0	
	負債合計(B)		0
III 正味財産の部			
	前期繰越正味財産	1,333,913	
	当期正味財産増減額	544,098	
	正味財産合計(C)		1,878,011
	負債及び正味財産合計		
	(B) + (C) = (D)		1,878,011

財 産 目 録

令和2年3月31日 現在

特定非営利活動法人いしのまき環境ネット

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	事務局手元有高	463,709	
普通預金	七十七銀行石巻支店 5767784	1,104,313	
普通預金	ゆうちょ銀行 818 10000231	309,989	
	流動資産 計	1,878,011	
	資産合計(A)		1,878,011
II 負債の部			
1. 流動負債			
	流動負債 計	0	
	負債合計(B)		0
III 正味財産			
			1,878,011
備品			


特定非営利活動法人いしのまき環境ネット
2019年度 監査報告書


特定非営利活動法人いしのまき環境ネットより提出された

1. 2019年度 事業報告書
2. 2019年度 活動計算書
3. 2019年度 貸借対照表
4. 2019年度 財産目録

を監査した結果、いずれも正確にして適法であることを
認めます。

令和 2年 8 月 20 日

監事 岩佐 泰啓 

監事 栗原 将光 

特定非営利活動法人 いしのまき環境ネット
2020年度 代表理事所信

代表理事 齋藤 義樹

新型コロナウイルス蔓延に伴う社会経済活動の制限により、大気汚染物質の濃度が下がり、一時的とはいえ大気環境が改善されました。多くの人々が「厄災」とするウイルスによって、我々の「生き方」の課題が浮き彫りにされるというのは皮肉な話です。

本来、「社会経済」と「環境保全」は二律背反ではなく表裏一体です。河川の治水工事と新田開発（社会経済）による減災と生物多様性（環境保全）への寄与、里山や海岸林など、自然の一部である先人達は、環境を改変させながらもいのちの営みを紡いできました。

ここ数年、世界的には国連のSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）やESG投資（環境：Environment・社会：Social・統治：Governanceに配慮した経営を評価基準とした投資）の流行など、持続可能な社会経済活動は環境保全活動も包含し、万人の幸福に寄与するという概念と行動が普及しつつあります。その流れは先人達の生き方の再認識とともに、蓋然的に強まっております。

そして今、世界的な伝染病により「都市集中型の社会経済」のデメリットが露わになり、地域の強みを活かす「地方分散型の社会経済」への移行は段階的に進むものと考えられます。そこで重要になるのは「地域の価値」を再興し発展させることにあります。

「森林との付き合い方」もその価値の一つになります。郷土には現在、手入れのされていない杉林や竹林という豊富な資源が存在し、その利活用が課題となっております。そこで、今年度は「森づくり」に焦点を絞った取り組みを進めます。

現在、天津神大龍神宮の境内（山林）では、間伐後の杉林に希少な樹木（主にマグノリア）の植栽が進んでおり、感染症対策をしながら少人数での植樹や育苗（植替え）は可能であると思います。同時に郷土の森林の現状を観察し、実際に知って頂く良い機会にもなります。石巻南浜津波復興祈念公園においても、少人数での植樹は状況を判断しながら、可能であれば実施する予定です。

頻発する自然災害にウイルス禍 —— 環境への負荷を省みない傲慢な人間に対する「自然という神々からの天罰」という悲観的な見方よりも「柔軟な変化や発展への機会」と捉え、それぞれの足元から行動を継続していく —— そのような姿勢が今、我々に求められていると感じております。今年度もご支援とご協力をお願い申し上げます。

事業 NO.1

被災環境改善隊（いのちの底力プロジェクト）

チームリーダー 齋藤 義樹

【令和2年度事業計画（案）】

- 植樹用苗木の育苗（管理場所：天津神大龍神宮／こころの森ハウス 継続）
- 「石巻南浜津波復興祈念公園」内市民活動エリアにおける拠点の整備（継続）
- 植樹祭への参画（継続）
- 上記活動で使用する資材の作成・保管（EM土団子・ボカシ・堆肥・活性液など 継続）
- 地元の植生観察と採種（調査とタネひろい 継続）
- 講習会等への対応（依頼があればその都度応じる）

2020年度 年間事業予定表（案）

日程	内容	備考
4月		
6月		
7月		
8月		
9月	苗木の植替え、 企業植樹（復興祈念公園）	数人で実施 状況による
10月	植樹 天津神大龍神宮 山林、 植樹 復興祈念公園 市民活動拠点	数人で実施 数人で実施
11月	企業植樹（復興祈念公園）	状況による
3月	苗木の植替え、	数人で実施

【令和2年度 収支予算（案）】

科目	収入（円）	支出（円）	備考
資材費		50,000	EM資材、育苗資材
備品費		20,000	
その他			苗木販売等
合計		70,000	

事業NO.2

広報事業

【令和2年度事業計画案】

事業名	広報・研修事業	
概要	実施期間	令和2年4月～令和3年3月
	内容	ホームページの管理と維持。
目的	団体の活動報告	

【令和2年度 収支予算（案）】

科目	収入（円）	支出（円）	備考
通信費	0	8,000	サーバー・ドメイン年間使用料
雑費	0	500	振込手数料
計	0	8,500	

令和2年度 活動予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人いしのまき環境ネット
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
法人正会員受取会費	150,000	
個人正会員受取会費	50,000	
受取会費計		200,000
2 事業収益		
その他	0	
事業収益計		0
3 その他収益		
受取利息	10	
雑収入	10,000	
その他収益計		10,010
経常収益計		21,010
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	0	
(2) その他経費		
資材費	50,000	
備品費	20,000	
通信費	10,000	
雑費	5,000	
会議費	5,000	
事業費計		90,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
賃金	0	
(2) その他経費		
消耗品費		
通信費	15,000	
印刷費		
雑費		
管理費計		15,000
経常費用計		105,000
当期正味財産増減額		-105,010
前期繰越正味財産額		1,878,011
次期繰越正味財産額		1,773,001

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

特定非営利活動法人いしのまき環境ネット会員名簿

法人正会員		個人正会員			
1	(株)草新舎	1	栗原 将光	16	黒須 孝夫
2	(株)末永海産	2	佐々木 万亀夫	17	千葉 万里子
3	(株)山大	3	川村 久美	18	(株)街づくりまんぼう
4	(有)東宮城環境衛生センター	4	小野寺 豊	19	谷川 海明
5	(株)水沢種苗店	5	齋藤 美和子	20	高橋 賢
6	(株)東部環境	6	立花 善夫	21	戸張 あきお
7	(有)おおえ	7	中塩 寛子	22	田中 寛文
8	(株)石巻魚市場	8	後藤 泰彦		
9	天津神大龍神宮	9	阿部 司		
10	金華山黄金山神社	10	岩佐 泰啓		
11	山徳平塚水産(株)	11	鈴木 美智子		
12	(株)アイセイオート	12	渥美 秀明		
13	(株)石巻設計センター	13	阿部 嘉		
14	(株)斎武商店	14	小野 眞理		
15	(株)丸平かつおぶし	15	三浦 雄子		

令和2年3月末現在

法人正会員 15社

個人正会員 22名

計 15社 22名